

Interview

植樹祭を支える人々

1

藤寿産業 営業部課長

渡邊 宏さん(郡山市)

「お野立て所」を設計・施工

—本県産材を使った構造用集成材と加工技術に注目が集まっていますが、阿武隈川流域を中心に会津、いわき地域など県内全域の杉材を使い、1枚1枚強度を測定し、良いところだけを使って構造用集成材を製作しました。お野立て所には湾曲材のフレームを使い、温かみのあるやわらかなイメージを目指しました。従来の技術では湾曲の構造用集成材の加工はとても難しかったのですが、最新鋭の加工機を導入し、設



全国植樹祭で天皇・皇后両陛下の御座所となり、会場のシンボルとなる「お野立て所」。県産材を使った構造用集成材を高度な技術で加工して作られた湾曲材のフレームは、温かみのあるやわらかなイメージを醸し出し、県産材の良さを全国にアピールする施設になる＝南相馬市原町区栗(しどけ)地区

—天皇・皇后両陛下がお座りになるお野立て所の製作を担当しましたが、今回は本県での植樹祭開催となり、県産材の良さを県内外にアピールする好機と考え、社内でプロジェクトチームを立ち上げました。当社の構造用集成材の技術を生かし、設計、生産、施工までを担う体制を組み、提案では、そのアピールが評価されました。天皇・皇后両陛下がお座りになる施設で、大変光栄なことであると思っています。

計用プログラムで正確に制御し、誤差がプラスマイナスゼロのフレームを作り上げることができました。—その技術をどうやって培ってきたのでしょうか。1987(昭和62)年の建築基準法の改正を受け、木造で大規模構造物が造れるようになり、89(平成元)年から約30年続く経験を基に、強度も耐火性も高い構造用集成材の技術を生かし、体育館や屋内プールなどの大規模木造建築物の設計と

工場内での仮組みが一番大きなポイントでした。一番注目される施設ですのでやり直しがききません。工場内で仮組みしたものを見て確認していただき、不具合などがないか、県主導で入念な確認作業を行い、安心して現場に持っていくことができました。植樹祭の広場の木のベンチも設計提案し、また杉材の丸太を使った国旗掲揚ポールなども作りしました。全国から訪れる人たちに、県産材の良さを広くアピールできると思っています。



わたなべひろし 藤寿産業の構造用集成材の技術を生かし、今回のお野立て所のプロジェクトチームの中心的な役割を務める。39歳。

—植樹祭の重要な施設ということで苦労も多かったと思うのですが、工場内での仮組みが一番大きなポイントでした。一番注目される施設ですのでやり直しがききません。工場内で仮組みしたものを見て確認していただき、不具合などがないか、県主導で入念な確認作業を行い、安心して現場に持っていくことができました。植樹祭の広場の木のベンチも設計提案し、また杉材の丸太を使った国旗掲揚ポールなども作りしました。全国から訪れる人たちに、県産材の良さを広くアピールできると思っています。

「両陛下がお座りになる施設。大変光栄」

祝 第69回 全国植樹祭ふくしま2018